

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区備後町2-4-6 TEL:06-6209-7678

編集発行人: 税理士 三輪 厚二 FAX:06-6209-8145

## ◇ 令和5年 相続税の調査等の状況

**Q** : 令和5年の相続税の調査の状況が公表されたとか。どんな内容でしたか？

**A** : 次のような内容でした。

### 【解説】

さきごろ、国税庁から「令和5事務年度における相続税の調査等の状況」が公表されました。主な内容は、次のとおりです。

#### ① 相続税の实地調査の状況

資料情報等から申告額が過少であると想定される事案や、申告義務があるにもかかわらず無申告であると想定される事案等について、相続税の实地調査が実施されました。令和5事務年度においては、令和4事務年度から、实地調査件数(8,556件)、追徴税額合計(735億円)は、ともに増加(対前事務年度比104.4%、109.8%)しています。

#### ② 簡易な接触の状況

接触件数は18,781件(対前事務年度比125.2%)、申告漏れ等の非違件数は5,079件(同137.8%)、申告漏れ課税価格は954億円(同139.0%)、追徴税額合計は122億円(同140.8%)と、いずれも簡易な接触の事績の公表を始めた平成28事務年度以降で最高となりました。

#### ③ 無申告事案に対する实地調査の状況

無申告事案にかかる追徴税額は123億円(対前事務年度比111.4%)で、公表を始めた平成21事務年度以降で最高でした。

#### ④ 贈与税の实地調査の状況

贈与税の实地調査件数は2,847件(対前事務年度比97.9%)、追徴税額は108億円(同137.5%)でした。

